



▲最優秀賞 東又子ども会

▲優秀賞 四季舞

▲鳴子踊り大賞 商工会青年部

第40回台地まつり開催

11月7日・8日の2日間、窪川地区中心部で第40回台地まつりが開催されました。

7日の鳴子踊りでは、残念ながら雨となりコースを一部短縮して実施されましたが、踊り子の皆さんは雨など全く気にならない様子でいきいきと踊っていました。今年度の受賞チームは次のとおりです。

- ◆最優秀賞 東又子ども会(3連覇)……子ども達だけで結成されたチーム。
上級生から下級生まで一丸となって一生懸命踊っていました。
- ◆優秀賞 四季舞(興津・初参加)……今年初参加ながら大人も子どもも元気いっぱい豪快に踊っていました。
- ◆鳴子踊り大賞 商工会青年部 ……踊り好きというチームらしく、生バンドのロック演奏に合わせ楽しく踊っていました。

また8日には、40回という節目だった今年、特別に第一線で活躍されている声優・古谷徹さんをお招きし、トークショーを行いました。「機動戦士ガンダム」のアムロ・レイ、「聖闘士星矢」のペガサス星矢といった大人気アニメの主演を演じ、現在放送中のアニメでは「ONE PIECE」のサボ役を演じている古谷さん。会場ではさまざまなキャラクターの裏話などを披露してくれ、最後には来場者より抽選で5名の方にサイン色紙のプレゼントがありました。



▲声優・古谷徹さん(右)



▲ボルダリング

役場西庁舎ホールには、広々とした空間を活かした「ボルダリング」というアトラクションも登場。2日間とも終日大盛況となりました。

さらに、今年は各会場を回るスタンプラリーも開催しました。町内の各企業よりご提供いただいた特産品が抽選で50名に当たります。ご応募いただいた皆さん、ありがとうございました。

そのほか、毎年台地まつりを盛り上げてくれる各会場では、今年もさまざまな催しがありました。



▲スタンプラリー

▲JA おまつり広場

▲谷千城ミュージカル

季節の風景 12月

お歳暮

元々は日本古来の行事である御霊祭みたままつりりが起源で、分家から本家に、嫁ぎ先から実家に、使用人から雇い主などへ、お供え物が贈り届けられたことに由来します。当時は正月を前にして、年の瀬を無事に越して新しい年を迎えるにあたっての必需品として、お酒・干し魚・数の子・スルメ・昆布・塩鮭などの日持ち食品が贈られていたようです。

お歳暮は、本来は事前に訪問時間を打ち合わせて先方宅に直接持参するのが習わしですが、昨今ではお互いの都合もあって、余程の場合を除いてはデパートなどから直送したり、宅配便を利用することが一般的になっています。

何を贈るかについては案外面倒で難しいもので、つい贈る側の好みによって同じようなものを贈ってしまうケースが多いようですが、贈り物は自らの心が相手に伝わり喜んでもらってこそ本来の意味合いがあると言えます。どんなに高価なものでもお酒が飲めない人に酒類を贈っても喜んではもらえません。自分好みの「あげたもの」を贈るのではなく、相手の好み・家族構成・年齢・人数などを十分考慮して「喜んでいただけるもの」を選ぶことを心掛けるというのではないのでしょうか。ちなみに、受けとる側がうれしいもののアンケートでは、商品券・ギフト券やハム・ソーセージ、ビール・ビール券などが上位を占めています。

日頃、お世話になっている方へ一年間の感謝を込めて……



今月の



青森から横須賀、四万十町へ… 波瀾万丈のはじまり

菊池未来さんは、今年8月号でご紹介した菊池祐さんの奥様です。今年4月に祐さんとともに四万十町にやってきました。

祐さんは鍛冶屋さんに弟子入り。未来さんは現在、保育園の臨時職員として働きながら、週に1回ですが、十和おかみさん市が運営する「十和の台所」で働いています。てきぱきと仕事をこなすだけでなく、訪れるお客さんへの対応もソフトで優しく、特に高齢者の



▲未来さんは十和の台所でも人気者

方々への寄り添うような接し方は、傍らで見ているだけでも癒されます。

未来さんは青森県西津軽郡深浦町出身。同郷に大相撲で技能力士として活躍している安美錦関がいます。未来さんの元の職業は看護師。青森県内の病院で、10年勤務されてきました。祐さんとの出会いもその看護師時代。未来さんがいつものように勤務されていたある日のこと、ツーリングで青森を訪れていた祐さんが事故に遭い救急で運ばれてきたのだとか。

その後、結婚。祐さんの住む横須賀へ。そして四万十町への移住と急展開していきました。まさに波瀾万丈のはじまりはじまり。それでも、未来さんは



みき 菊池 未来さん
(十和川口)

初めての土地で、生き生きと暮らしています。

「青森の深浦の人もあたたかいけれど、四万十町はまた違った雰囲気のアたたかさがあったりもしています！まだ、来たばかりですけど、これから四万十の自然と人に溶け込んでいきたいと思っています。」

津軽弁のイントネーションがとっても心地良く、さらに、ゆったりと語る未来さんには、どこか人を安心させる不思議なやさしいムードが漂っています。ところで、そのおだやかでほんわかした未来さんの雰囲気からは想像しにくいのですが、趣味は祐さんと同じく大型バイク(650cc)でのツーリングなのだそう。